



BSN

株式会社新潟放送 証券コード:9408

第 **85** 期
事業のご報告

2014. 4. 1 ▶ 2015. 3. 31



株主の皆様へ



平素は当社事業につき格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに当社第85期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）の事業の概況をお届けいたしますので、よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年6月

代表取締役社長

竹石 松次

事業の経過及び成果

当期におけるわが国経済は、デフレ脱却や経済再生に向けた政府の政策展開や日銀による大胆な金融緩和策で株高、円安の流れが加速し、輸出関連を中心に大企業収益の増加と雇用環境の改善の動きが見られました。しかし、4月からの消費税率引き上げや円安による輸入原材料価格の上昇による個人消費の落込みなど負の側面も見られ、放送業界における広告出稿も先が読めない状況が続きました。

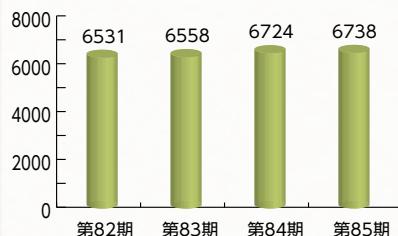
このような状況のなかで、当社はラジオ部門におきましては、タイム収入、スポット収入、そして制作収入ともに前期の実績を上回り、ラジオの長期低迷傾向から回復の兆しが見られました。

一方、テレビ部門におきましては収益の柱となるテレビスポット広告の出稿量が、消費税率引き上げ前のいわゆる「駆け込み需要」の反動もあり、わずかながら前期に届きませんでした。

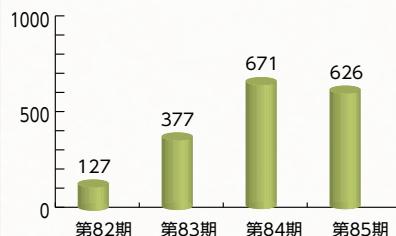
この結果、当期の営業収益は67億3千8百万円と、前期に比べ0.2%の増収となりました。

利益面におきましては、全社を挙げて一層のコスト削減に努めたことから、当期純利益は4億4千万円と、前期に比べ5億1千2百万円の増益となりました。

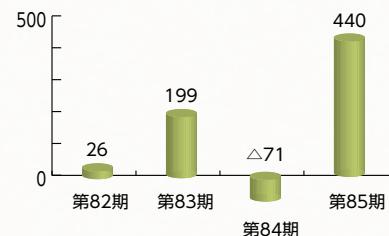
売上高 (百万円)



経常利益 (百万円)



当期純利益又は損失 (百万円)



ラジオ部門

当期におけるラジオ収入は、前期比 4.7% 増の 8 億 2 千 3 百万円となり、3 千 7 百万円の増収となりました。タイム収入は公開生放送や公開録音を積極的に行い、前期実績を上回りました。スポット収入も新たな企画でセールスを進め増収、制作収入も前期実績を大きく上回りました。

番組編成面におきましては、平日の朝 7 時から夕方 5 時 30 分までの時間帯の大半を自社制作の生ワイド番組で編成した上で、土曜日の午後に生ワイド番組を新たに立ち上げ、より幅広い聴取者層に働きかけるレギュラー番組の充実を図りました。

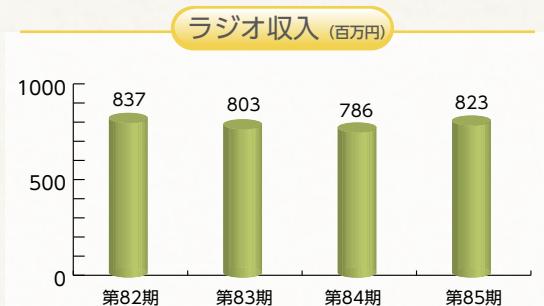
このほか、BSNラジオをスマートフォンやパソコンを使って全国で聴取できる「radiko プレミアム」に参加したことにより、新潟の情報を県域を越えて発信する態勢を整えました。



新海史子のLINKの公開生放送
(毎週土曜13:00~15:00)



近藤文靖の独占ごきげんアワー (月曜~木 9:00~13:00)



ラジオ中継車
「スナッピー」



新潟日報メディアシップから生放送!



テレビ部門

当期におけるテレビ収入は、収益の柱であるスポット収入が、消費税率引き上げ前の「駆け込み需要」の反動により前期実績に届かなかったことなどにより、前期比 0.8% 減の 52 億 3 千 7 百万円と、4 千万円の減収となりました。

4 年目を迎えたゴールデンタイムのレギュラー番組「BSN水曜見ナイト」では、「食」や「町おこし」などのおなじみのテーマのほか、今期も長岡花火と連動した 2 時間スペシャルを放送し、高視聴率を獲得しました。報道部門では、新潟地震発生から 50 年、中越地震発生から 10 年の節目を迎えたことから、今期は防災や震災からの復興をテーマにした特別番組の制作にも精力的に取り組みました。また、3 月の北陸新幹線の開業に合わせ、TBS をはじめ沿線 4 県の系列局と共同で番組を制作し上越地域の情報を県内外に向けて発信しました。



水曜見ナイト「長岡花火 2 時間SP」
(8 月 7 日放送)



中越地震 10 年 NスタにいがたSP
(アオーレ長岡 10 月 23 日放送)

その他の部門

その他の部門については、前期比 2.7% 増の 6 億 7 千 4 百万円となりました。

今期もプロ野球公式戦「横浜 vs 巨人」を主催、2 万 5,000 人のファンがスタンドを埋め尽くし、熱い声援を送りました。このほか、今期も BSN の冠がついたスポーツ大会やスケートフェスティバルなどを数多く主催し、新潟県のスポーツ振興に貢献しました。

BSN のコンテンツ力を生かした事業にも積極的に取り組みました。「水曜見ナイト」の人気企画「新潟はラーメン王国だ！」とタイアップした「全国麺祭り」を前期に引き続き開催、2 万 4,000 杯のラーメンを販売しました。さらに、「水曜見ナイト」を海外の日本語専門テレビ局に販売し、「NIIGATA WINTER」のタイトルでインドネシアで放送されました。新潟県の観光や産業活性化のために今後も海外の放送局に対し番組を販売して新潟県を紹介する事業を展開してまいります。



横浜DeNA vs 読売ジャイアンツ
(ハードオフエコスタジアム新潟 8月5日)



全国麺祭り (10月29日~11月3日)

その他の収入 (百万円)



BSNスケートフェスティバル
(新潟アサヒアレックスアイスアリーナ 7月26日)



対処すべき課題

IT技術の急速な進歩による多メディア化・多チャンネル化の進展とともに、放送業界を取り巻く環境は、めまぐるしく変化しています。こうした激変期にあって、放送事業者である当社は、地域に欠くことのできない情報インフラとして、聴取者・視聴者に信頼されるコンテンツを送り続けるために、ラジオ・テレビの広告収入をさらに拡大させ、経営基盤を強化することが重要な使命と考えております。地域に寄り添った番組を作りながら利益を上げていくことが新潟放送のブランド力のアップに繋がり、放送事業収入に直結する番組視聴率の向上に繋がることを確信しております。

また、「収入源の多角的拡大」の観点から放送以外の収入につきましても、従来の大型スポーツイベント等に加え、番組やCMの配信ビジネスや、デジタル放送による新しいサービスの研究開発等に積極的に取り組んでまいります。

当社は、放送を通じて公共の福祉、文化の向上、産業と経済の発展に寄与するという経営理念のもとに、「地域に必要とされる放送局」であり続けることに力を注いでまいりました。これからも放送局の存在意義を十分に活かしながら、株主の皆様をはじめ、視聴者、地域社会、スポンサーなどすべてのステークホルダーの期待に応え、コンプライアンス体制のさらなる強化に努めてまいります。

設備投資の状況



(HDヘリコプターの防振レンズ)



(佐渡情報カメラ)



(SNG基地局パラボラアンテナ)

当期中に実施した設備投資総額
327,000 千円

〈主な設備投資等〉

- ・HDヘリコプター中継設備更新
- ・SNG基地局パラボラアンテナ
- ・ラジオ1サブ音声設備
- ・長岡・佐渡情報カメラ

財務諸表

■ 連結貸借対照表 ■ (単位：千円)

科 目	当期末	前期末
	平成27年3月31日	平成26年3月31日
(資産の部)		
流動資産	9,515,154	9,977,714
固定資産	12,249,916	11,726,077
有形固定資産	7,281,736	7,608,678
無形固定資産	702,308	722,878
投資その他の資産	4,265,872	3,394,519
資産合計	21,765,071	21,703,791
(負債の部)		
流動負債	4,848,986	5,289,747
固定負債	2,145,841	2,785,060
負債合計	6,994,827	8,074,807
(純資産の部)		
株主資本	13,089,498	12,598,172
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	5,750	5,750
利益剰余金	12,784,271	12,292,921
自己株式	△524	△499
その他の包括利益累計額	213,351	△370,611
少数株主持分	1,467,394	1,401,422
純資産合計	14,770,243	13,628,983
負債・純資産合計	21,765,071	21,703,791

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 ■ (単位：百万円)

科 目	当期	前期
	平成26年4月 1日から 平成27年3月31日まで	平成25年4月 1日から 平成26年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,968	1,363
投資活動によるキャッシュ・フロー	△803	△671
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,123	△617
現金及び現金同等物の増加額	41	73
現金及び現金同等物の期首残高	3,311	3,237
現金及び現金同等物の期末残高	3,352	3,311

■ 連結損益計算書 ■ (単位：千円)

科 目	当期	前期
	平成26年4月 1日から 平成27年3月31日まで	平成25年4月 1日から 平成26年3月31日まで
売上高	20,249,872	22,202,526
売上原価	14,563,423	16,113,484
売上総利益	5,686,448	6,089,042
販売費及び一般管理費	4,731,701	5,057,768
営業利益	954,747	1,031,273
営業外収益	102,293	74,043
営業外費用	42,742	53,561
経常利益	1,014,297	1,051,755
特別利益	147,285	284,077
特別損失	227,918	185,444
税金等調整前当期純利益	933,664	1,150,388
法人税、住民税および事業税	135,366	161,229
法人税等調整額	186,145	13,915
少数株主損益調整前当期純利益	612,152	975,243
少数株主利益	75,808	104,425
当期純利益	536,344	870,817

■ 個別 ハイライト ■ (単位：百万円)

科 目	当期末	前期末
	平成27年3月31日	平成26年3月31日
総資産	11,938	11,383
純資産	10,129	9,459

科 目	当期	前期
	平成26年4月 1日から 平成27年3月31日まで	平成25年4月 1日から 平成26年3月31日まで
売上高	6,738	6,724
営業利益	528	619
経常利益	626	671
当期純利益又は純損失	440	△71



■ 重要な子会社の状況 ■

会社名	資本金 (百万円)	出資比率 (%)	主要な事業内容
株BSNウェーブ	85	100.0	建物管理及び不動産業
株BSNアイネット	200	65.5	情報処理サービス及び電算機器の販売
株ビーアイテック	50	65.5	パソコン機器及び関連商品の販売、 及びシステム建設並びに保守
株ITスクエア	80	56.3	情報化戦略立案支援及び情報システム導入 調達支援

B S Nグループ (◇は連結対象子会社)

(株)新潟放送

◇(株)BSNウェーブ

◇(株)BSNアイネット

◇(株)ビーアイテック

◇(株)ITスクエア

(株)エム・エス・シー

(株)エヌ・ティ・エス

龍越ソフト(株)

(株)グローバルネットコア

(株)日本ファシリティ

株式の概況 (平成27年3月31日現在)

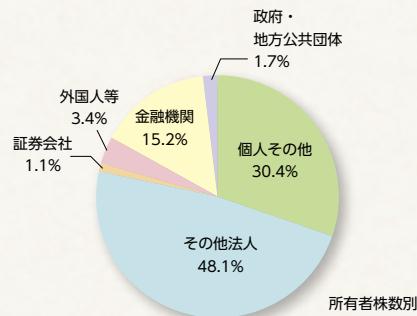
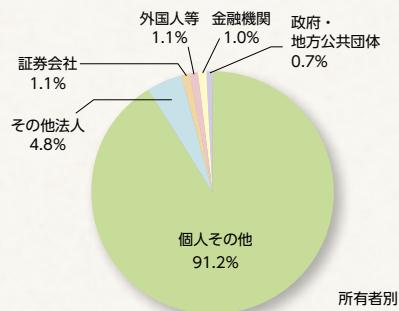
- ◆ 発行可能株式総数 10,000,000 株
- ◆ 発行済株式総数 6,000,000 株
(自己株式 794 株を含む)
- ◆ 株主数 1,284 名

◆ 大株主 (上位 10 名)

株主名	所有株式数	持株比率
株式会社新潟日報社	765,800 株	12.7 %
越後交通株式会社	579,050	9.6
株式会社東京放送ホールディングス	485,000	8.0
株式会社第四銀行	299,600	4.9
第四リース株式会社	204,000	3.4
BSN 従業員持株会	148,400	2.4
株式会社損害保険ジャパン	132,000	2.2
ROYAL BANK OF CANADA	120,000	2.0
蒲生逸郎	107,700	1.7
みずほ信託銀行株式会社	107,000	1.7

※持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株式の分布状況 (平成27年3月31日現在)



会社の沿革 (平成27年3月31日現在)

昭和27年10月14日	会社創立「株式会社ラジオ新潟」 (資本金5,000万円)
12月24日	ラジオ放送開始
29年 5月 1日	増資 2,000万円 (ラジオ設備資金) 資本金7,000万円
33年 2月17日	増資 1,400万円 (株式配当) 資本金8,400万円
3月25日	増資11,600万円 (テレビ設備資金) 資本金20,000万円
12月24日	テレビジョン放送開始
36年 3月 1日	商号「株式会社ラジオ新潟」を 「株式会社新潟放送」に変更
38年 9月 2日	増資10,000万円 (BSN産業会館設備資金) 資本金3億円
39年10月 1日	テレビジョンカラー放送開始
44年 4月15日	東京店頭売買銘柄に登録
49年 8月30日	決算期を毎年3月31日とする 年1回決算に変更
平成 5年 8月20日	500円額面株式1株を50円額面 株式10株に分割し、1単位の株式 数を100株から1000株に変更
11年 8月 2日	1単位の株式数を1,000株から 100株に変更
13年10月 1日	1単位の株式数100株を1単元の 株式数100株に変更
16年12月13日	ジャスダック証券取引所(現 東京証 券取引所ジャスダック市場)に変更
18年 4月 1日	地上デジタルテレビ放送開始
23年 7月24日	テレビのアナログ放送終了し、 デジタル放送に完全移行

役員 (平成27年6月26日現在)

代表取締役社長	竹石松次
専務取締役	梅津雅之
常務取締役	赤塚 宰
常務取締役	斎藤和利
取締役	島田好久
取締役	高坂元己
取締役	佐藤隆夫
取締役	小田敏三
取締役	藤田徹也
取締役	並木富士雄
常勤監査役	大石昌幸
監査役	高橋道映
監査役	中山輝也
監査役	瀬賀弥平
顧問	田中真紀子
特別顧問	高澤正樹
特別顧問	牧野庄三





株主メモ

- 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日
- 定時株主総会** 毎年6月
- 剰余金の配当** 毎年3月31日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対しお支払いいたします。
- 中間配当** 取締役会の決議によって、中間配当を実施する場合は、毎年9月30日最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対しお支払いいたします。
- 株式名簿管理人** 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
- 単元株数** 100株
- 公告掲載新聞** 新潟日報

◆お取扱窓口

証券会社等に口座をお持ちの場合

住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。

証券会社に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）

下記のお取扱店にてお取次ぎいたします。

◆お問合せ先 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4

みずほ信託銀行証券代行部

フリーダイヤル 0120-288-324

(土・日・祝日を除く 9:00～17:00)

◆お取扱店 みずほ証券 本店、全国各支店及び営業所 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗）でもお取扱いいたします。 ※カスタマープラザではお取扱いできませんのでご了承ください。

みずほ信託銀行 本店、全国各支店

※トラストラウンジではお取扱いできませんのでご了承ください。

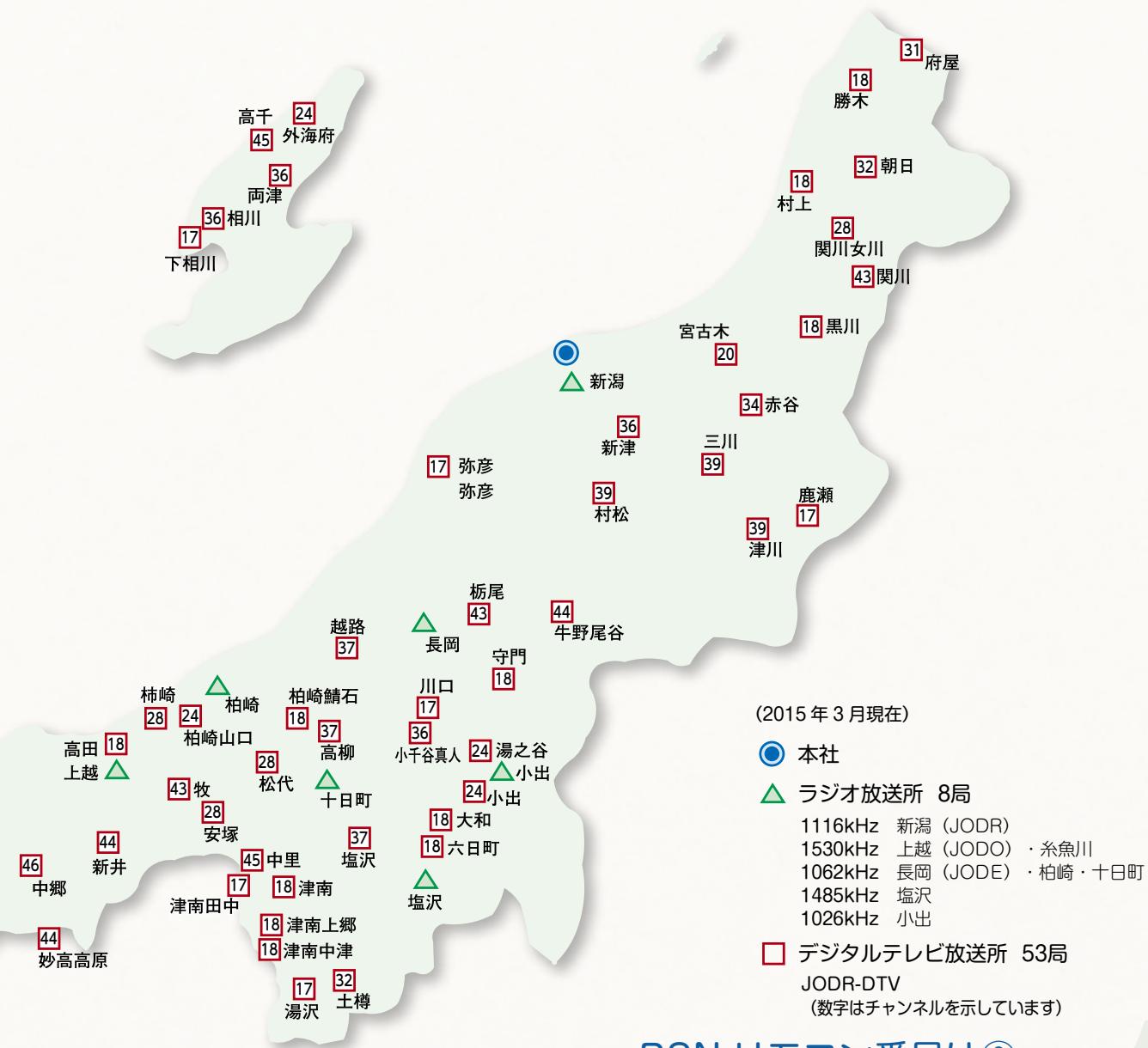
◆未払配当金のお支払

みずほ信託銀行 本店、全国各支店

みずほ銀行 本店、全国各支店

BSN ラジオ・テレビ





BSN リモコン番号は⑥

BSN



■ 本 社

〒951-8655
新潟市中央区川岸町3-18
tel 025(267)4111

■ 事業局

〒950-8448
新潟市中央区万代3-1-1
メディアシップ
(事業部) tel 025(290)7844

■ 長岡支社

〒940-0082
長岡市千歳1-3-43
メディアプラット
tel 0258(35)7531

■ 上越支社

〒943-0831
上越市仲町4-3-19
マルケーバスビル
tel 025(524)2115

■ 東京支社

〒104-0061
東京都中央区銀座5-15-1
南海東京ビル
tel 03(3543)5001

■ 大阪支社

〒530-0001
大阪市北区梅田1-3-1-800
大阪駅前第1ビル
tel 06(6344)2701